

- Q10 あなたの会社には、退職金がありますか。ある場合は、あなたの今の会社で定年まで働いたとしたら、いくら位貰えますか。企業年金等がある場合はそれらの金額も含めてお答えください。

		回答数	%
全体		4219	100.0
1	なし	1553	36.8
2	500万円未満	410	9.7
3	500～1,000万円未満	204	4.8
4	1,000～1,500万円未満	160	3.8
5	1,500～2,000万円未満	150	3.6
6	2,000～2,500万円未満	168	4.0
7	2,500～3,000万円未満	78	1.8
8	3,000万円以上	55	1.3
9	わからない	1441	34.2

- Q11\_1 あなたは、次のような年金制度を知っていますか、または加入していますか。該当するものを選んでください。／国民年金の付加年金

		回答数	%
全体		1991	100.0
1	加入している	240	12.1
2	知っているが加入していない	1027	51.6
3	知らない	724	36.4

- Q11\_2 あなたは、次のような年金制度を知っていますか、または加入していますか。該当するものを選んでください。／個人年金保険（生命保険会社等）

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	加入している	1858	28.1
2	知っているが加入していない	3676	55.7
3	知らない	1069	16.2

- Q12 あなたは、厚生年金（共済年金）に加入できるとしたら加入したいと思いますか。

		回答数	%
全体		1042	100.0
1	加入したい	500	48.0
2	加入したくない	145	13.9
3	わからない	397	38.1

- Q12\_1 前問Q12で「加入したい」とお答えの方にお伺いします。厚生年金に「加入したい」理由を次の中から選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		500	100.0
1	自分で保険料・掛金を払ってでも、厚生年金に加入した方が将来貰える年	165	33.0
2	国民年金だけでは将来貰える年金額が不安だから	216	43.2
3	企業が保険料を半分負担してくれる制度であるから	117	23.4
4	その他	2	0.4

Q12\_2 前問Q 1 2で「加入したくない」とお答えの方にお伺いします。厚生年金に「加入したくない」理由を、次の中から選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		145	100.0
1	配偶者の扶養に入っているから	52	35.9
2	保険料・掛金を給料から引かれて給料が減るのは嫌だから	30	20.7
3	加入しても将来貰える年金額に差がないと思うから	34	23.4
4	厚生年金は保険料が高そうだから	18	12.4
5	その他	11	7.6

Q13 あなたは、公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）に上乗せするような企業年金に入るとしたら加入したいと思いますか。

		回答数	%
全体		1516	100.0
1	加入したい	568	37.5
2	加入したくない	274	18.1
3	わからない	674	44.5

Q13\_1 前問Q 1 3で「加入したい」とお答えの方にお伺いします。公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）を上乗せするような企業年金に「加入したい」理由を次の中からと選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		568	100.0
1	保険料・掛金を事業主等が払ってくれるのであれば、その分給与が減って	207	36.4
2	何らかの税制優遇が受けられるのであれば、保険料・掛金を自分で払って	281	49.5
3	税制優遇等がなくても老後生活のために、保険料・掛金を自分で払っても	77	13.6
4	その他	3	0.5

Q13\_2 前問Q 1 3で「加入したくない」とお答えの方にお伺いします。公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）を上乗せするよう企業年金に「加入したくない」理由を、次の中から選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		274	100.0
1	保険料・掛金を事業主等が払ってくれても、その分給与が減るのであれば	105	38.3
2	保険料・掛金を自分で払うのであれば加入したくない	144	52.6
3	その他	25	9.1

Q14\_1 あなたが、次のような年金制度に加入していない理由は何ですか。その理由を下記の理由欄の中から一番当てはまると思われる理由をひとつを選んでください。／小規模企業共済制度

		回答数	%
全体		420	100.0
1	制度の内容をよく知らないから	246	58.6
2	その制度に加入して、将来、年金を貰ってもあまり老後の生活費に役立つ	56	13.3
3	老後も自分で稼ぐ予定であり、年金制度への加入は必要がない	31	7.4
4	自分の配偶者の年金で十分である	1	0.2
5	加入したいと思っていたが加入するタイミングを逸してしまっているため	35	8.3
6	加入したいと思っていたが加入の仕方がわからない	25	6.0
7	その他	26	6.2

Q14\_2 あなたが、次のような年金制度に加入していない理由は何ですか。その理由を下記の理由欄の中から一番当てはまると思われる理由をひとつを選んでください。／国民年金の付加年金

		回答数	%
全体		1751	100.0
1	制度の内容をよく知らないから	901	51.5
2	その制度に加入して、将来、年金を貰ってもあまり老後の生活費に役立つ	307	17.5
3	老後も自分で稼ぐ予定であり、年金制度への加入は必要がない	59	3.4
4	自分の配偶者の年金で十分である	14	0.8
5	加入したいと思っていたが加入するタイミングを逸してしまっているため	177	10.1
6	加入したいと思っていたが加入の仕方がわからない	99	5.7
7	その他	194	11.1

Q14\_3 あなたが、次のような年金制度に加入していない理由は何ですか。その理由を下記の理由欄の中から一番当てはまると思われる理由をひとつを選んでください。／国民年金基金（地域型、職能型）

		回答数	%
全体		1699	100.0
1	制度の内容をよく知らないから	839	49.4
2	その制度に加入して、将来、年金を貰ってもあまり老後の生活費に役立つ	325	19.1
3	老後も自分で稼ぐ予定であり、年金制度への加入は必要がない	58	3.4
4	自分の配偶者の年金で十分である	18	1.1
5	加入したいと思っていたが加入するタイミングを逸してしまっているため	163	9.6
6	加入したいと思っていたが加入の仕方がわからない	90	5.3
7	その他	206	12.1

Q14\_4 あなたが、次のような年金制度に加入していない理由は何ですか。その理由を下記の理由欄の中から一番当てはまると思われる理由をひとつを選んでください。／個人型確定拠出年金

		回答数	%
全体		3114	100.0
1	制度の内容をよく知らないから	1769	56.8
2	その制度に加入して、将来、年金を貰ってもあまり老後の生活費に役立つ	473	15.2
3	老後も自分で稼ぐ予定であり、年金制度への加入は必要がない	110	3.5
4	自分の配偶者の年金で十分である	49	1.6
5	加入したいと思っていたが加入するタイミングを逸してしまっているため	252	8.1
6	加入したいと思っていたが加入の仕方がわからない	202	6.5
7	その他	259	8.3

Q14\_5 あなたが、次のような年金制度に加入していない理由は何ですか。その理由を下記の理由欄の中から一番当てはまると思われる理由をひとつを選んでください。／個人年金保険

		回答数	%
全体		4745	100.0
1	制度の内容をよく知らないから	2066	43.5
2	その制度に加入して、将来、年金を貰ってもあまり老後の生活費に役立つ	842	17.7
3	老後も自分で稼ぐ予定であり、年金制度への加入は必要がない	167	3.5
4	自分の配偶者の年金で十分である	170	3.6
5	加入したいと思っていたが加入するタイミングを逸してしまっているため	697	14.7
6	加入したいと思っていたが加入の仕方がわからない	240	5.1
7	その他	563	11.9

Q15 あなたは、国民年金基金または個人型確定拠出年金などに自分で保険料・掛金を払って加入できるとしたら加入したいと思いますか。

		回答数	%
全体		1077	100.0
1	加入したい	220	20.4
2	加入したくない	234	21.7
3	わからない	623	57.8

Q15\_1 前問Q15で「加入したい」とお答えになった方にお伺いします。国民年金基金または個人型確定拠出年金などに自分で保険料・掛金を払って「加入したい」理由を選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		220	100.0
1	自分で保険料・掛金を払ってでも、これらに加入した方が将来貰える年金	52	23.6
2	国民年金だけでは将来貰える年金額が不安だから	149	67.7
3	配偶者に頼るのではなく自分の年金として将来貰えるようにしたいから	19	8.6
4	その他	0	0.0

Q15\_2 前問Q15で「加入したくない」とお答えになった方にお伺いします。国民年金基金または個人型確定拠出年金などに自分で保険料・掛金を払って「加入したくない」理由を選んでください。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		234	100.0
1	保険料・掛金を払う余裕がないから	97	41.5
2	加入しても将来貰える年金額に差がないと思うから	13	5.6
3	加入しても将来、支払った分を貰えない気がするから	101	43.2
4	将来は配偶者の年金で生活していく予定であり自分の年金はいらないから	8	3.4
5	国民年金基金や個人型確定拠出年金は仕組みが難しそうだから	12	5.1
6	その他	3	1.3

Q16 あなたが、個人年金に加入している理由は何ですか。最も当てはまる理由を選んでください。

		回答数	%
全体		1858	100.0
1	公的年金だけでは将来貰える年金額が不安だから	1123	60.4
2	公的年金は将来貰えなくなるかもしれないと思うから	244	13.1
3	公的年金に比べて自分で支払った額に見合う年金が貰えるから	160	8.6
4	友人・知人・保険会社の薦めでなんとなく	269	14.5
5	その他	62	3.3

Q17 あなたが「加入している」個人年金はどのようなものですか。

		回答数	%
全体		1858	100.0
1	終身年金型	550	29.6
2	確定・有期年金型	1025	55.2
3	わからない	273	14.7
4	その他	10	0.5

Q17\_1 その場合の支給期間は何年ですか。複数の契約を持たれている方は複数選んでください。

		回答数	%
全体		1025	100.0
1	5年	129	12.6
2	10年	757	73.9
3	15年	184	18.0
4	その他/年	17	1.7

Q17\_2 その場合の支給期間は何年ですか。/年

		回答数	%
全体		17	100.0
平均値			19.47
最小値			1.00
最大値			35.00

Q18 あなたは65歳以降の収入設計について考えていますか。また、考えはじめたのはいつ頃からですか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	20歳代	673	10.2
2	30～34歳	589	8.9
3	35～39歳	422	6.4
4	40～44歳	435	6.6
5	45～49歳	353	5.3
6	50～54歳	414	6.3
7	55歳以降	192	2.9
8	まだ考えていない	3525	53.4

Q19 65歳以降、あなたの世帯の1か月の生活費（扶養・住宅ローン支払・医療・教養・娯楽費などを含む）はどのくらいだと思いますか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	10万円未満	662	10.0
2	10～15万円未満	1685	25.5
3	15～20万円未満	1847	28.0
4	20～25万円未満	1359	20.6
5	25～30万円未満	643	9.7
6	30万円以上	407	6.2

Q20

65歳以降、あなたはどのようにして生計を立てようとお考えですか。あなたに配偶者がいる場合は配偶者と合わせてお答えください。（複数回答）

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	仕事による収入	2904	44.0
2	公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）	4504	68.2
3	企業年金（厚生年金基金、適格年金など）	1337	20.2
4	個人年金（個人年金保険、簡易保険など）	1629	24.7
5	不動産収入	431	6.5
6	利息・配当金収入	802	12.1
7	預貯金	3297	49.9
8	親族からの支援	143	2.2
9	生活保護	162	2.5
10	その他	56	0.8
11	わからない	782	11.8

Q21

65歳以降、あなたの世帯の生活費のうち、あなたの世帯（あなたに配偶者がいる場合は配偶者との合計額）での、公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）で賄う割合はおよそどのくらいであると考えていますか。それぞれの合計が100%になるように記入ください。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	公的年金でまかなう割合はおよそ次のように考えている	3421	51.8
2	わからない	3182	48.2

Q21\_1

65歳以降、あなたの世帯の生活費のうち、公的年金で賄う割合はおよそどのくらいであると考えていますか。①と②の合計が100%になるように記入ください。／公的年金でまかなう割合

		回答数	%
全体		3421	100.0
	平均値		63.54
	最小値		0.00
	最大値		100.00

Q21\_2

65歳以降、あなたの世帯の生活費のうち、公的年金で賄う割合はおよそどのくらいであると考えていますか。それぞれの合計が100%になるように記入ください。／公的年金以外の年金で賄う割合

		回答数	%
全体		3421	100.0
	平均値		36.46
	最小値		0.00
	最大値		100.00

Q22

あなたの世帯（あなたに配偶者がいる場合は配偶者との合計額）が将来受け取る次の年金額は、月額でおよそどのくらいの見込みか知っていますか。知っている年金項目を選んでください。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	公的年金（国民年金+厚生年金+共済年金）（ご本人）	2100	31.8
2	企業年金（厚生年金基金、確定給付企業年金、適格退職年金、企業型確定	306	4.6
3	国民年金基金	135	2.0
4	個人年金保険	728	11.0
5	わからない	4191	63.5

Q22\_1 公的年金（国民年金＋厚生年金＋共済年金）

		回答数	%
全体		2100	100.0
1	2万円未満	54	2.6
2	2～5万円未満	129	6.1
3	5～7万円未満	299	14.2
4	7～10万円未満	291	13.9
5	10～15万円未満	383	18.2
6	15～20万円未満	306	14.6
7	20～25万円未満	216	10.3
8	25万円以上	114	5.4
9	わからない	308	14.7

Q22\_2 企業年金（厚生年金基金、確定給付企業年金、適格退職年金、企業型確定拠出年金、中小企業退職金共済制度、特定退職金共済制度）

		回答数	%
全体		306	100.0
1	2万円未満	26	8.5
2	2～5万円未満	27	8.8
3	5～7万円未満	32	10.5
4	7～10万円未満	42	13.7
5	10～15万円未満	40	13.1
6	15～20万円未満	16	5.2
7	20万円以上	18	5.9
8	わからない	100	32.7
9	加入していない	5	1.6

Q22\_3 国民年金基金

		回答数	%
全体		135	100.0
1	2万円未満	18	13.3
2	2～5万円未満	34	25.2
3	5～7万円未満	34	25.2
4	7～10万円未満	16	11.9
5	10～15万円未満	15	11.1
6	15～20万円未満	4	3.0
7	20万円以上	1	0.7
8	わからない	13	9.6
9	加入していない	0	0.0

Q22\_4 個人年金保険

		回答数	%
全体		728	100.0
1	2万円未満	38	5.2
2	2～5万円未満	164	22.5
3	5～7万円未満	179	24.6
4	7～10万円未満	140	19.2
5	10～15万円未満	100	13.7
6	15～20万円未満	34	4.7
7	20万円以上	28	3.8
8	わからない	44	6.0
9	加入していない	1	0.1

Q23 あなたは、日本年金機構から送付されている「ねんきん定期便」を知っていますか。知っている場合、お手元に「ねんきん定期便」は保管してありますか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	知らない	562	8.5
2	知っていて、手元に保管してある	4427	67.0
3	知っていて、捨ててしまった	591	9.0
4	知っているが、どこにあるかわからない	1023	15.5

Q24 あなたは、日本年金機構から送付されている「ねんきん定期便」をなぜ保管しているのですか。保管している理由として最も当てはまるものを選んでください。

		回答数	%
全体		4427	100.0
1	将来に老後の生活設計に備えて将来受け取れるであろう公的年金額を把握	1261	28.5
2	自分自身の公的年金の加入履歴を把握しておくため	2906	65.6
3	その他	260	5.9

Q25 あなたは、日本年金機構から送付されている「ねんきん定期便」をなぜ捨ててしまったのですか。捨ててしまった理由として最も当てはまるものを選んでください。

		回答数	%
全体		591	100.0
1	公的年金は国がきちんと管理しており個人で管理する必要はないと考えた	85	14.4
2	公的年金には興味がないまたは公的年金をもらうつもりはない	20	3.4
3	公的年金の受給に必要な加入期間が（25年）が足りずに公的年金を将来	30	5.1
4	自分自身の公的年金の加入履歴を確認したのでもう保管しておく必要はな	417	70.6
5	その他	39	6.6

Q26 あなたは、日本年金機構から送付されている「ねんきん定期便」を今後も送付して欲しいですか。

		回答数	%
全体		6041	100.0
1	はい。今のままの内容でよいので送付してほしい	1829	30.3
2	はい。ただし、老後の生活設計に備えて将来もらえる公的年金額に重点を	2720	45.0
3	はい。ただし、加入記録の確認に重点を置いた記載で送付してほしい	726	12.0
4	いいえ。必要がない	573	9.5
5	その他	193	3.2



Q27 あなたは、公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）の水準についてどう思いますか。最も当てはまるものを選んでください。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	今の水準で十分である	336	5.1
2	今の水準では低いと思うが、保険料額が上がるなら、今のままの水準で良	3242	49.1
3	保険料額が上がっても良いから、公的年金の水準を上げて欲しい	732	11.1
4	消費税が上がっても良いから、公的年金の水準を上げて欲しい	1264	19.1
5	わからない	1029	15.6

Q28 あなたは、公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）を上乗せするよう企業年金年金制度は必要であると思いますか。最も当てはまるものを選んでください。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	公的年金のみで十分である	465	7.0
2	自分で個人年金に加入しているから公的年金を補完するような年金制度は	450	6.8
3	自分で年金以外の資産（預貯金を含む）があるので、公的年金を補完する	438	6.6
4	公的年金を補完するような何らかの年金制度は必要である。	3464	52.5
5	わからない	1786	27.0

Q29 現在、老後の生計資金のため、どのような方法で資産形成をされていますか。（複数回答）

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	預貯金	4742	71.8
2	生命保険・簡易保険	2457	37.2
3	損害保険	349	5.3
4	個人年金保険	1489	22.6
5	株式投資	1085	16.4
6	債券投資	275	4.2
7	投資信託	783	11.9
8	財形貯蓄	531	8.0
9	外貨預金	507	7.7
10	不動産投資	242	3.7
11	その他	54	0.8
12	何もしていない	1288	19.5

Q30 現在あなたの世帯で保有している預貯金や株などの金融資産額は全部でおよそいくらですか。（不動産は除く）

		回答数	%
全体		5315	100.0
1	なし	121	2.3
2	100万円未満	634	11.9
3	100～500万円未満	1189	22.4
4	500～1,000万円未満	742	14.0
5	1,000～1,500万円未満	349	6.6
6	1,500～2,000万円未満	228	4.3
7	2,000～3,000万円未満	224	4.2
8	3,000～5,000万円未満	176	3.3
9	5,000～7,000万円未満	80	1.5
10	7,000～9,000万円未満	22	0.4
11	9,000万円以上	44	0.8
12	わからない	724	13.6
13	答えたくない	782	14.7

Q31 あなたの現在のお住まいは次のどれに該当しますか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	自分または配偶者の持ち家	2938	44.5
2	親の持ち家	1483	22.5
3	賃貸住宅	1915	29.0
4	社宅	226	3.4
5	その他	41	0.6

Q32 あなたの老後のお住まいはどのようにされますか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	自分または配偶者の持ち家に住む	4309	65.3
2	親、親族、知人から家を譲り受ける	932	14.1
3	賃貸住宅に住む	936	14.2
4	自立型住まい（終身利用の有料老人ホーム等）に住む	165	2.5
5	その他	261	4.0

Q33\_1\_1 現在の生活における不安／現在の生活全般

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1712	25.9
2	少し不安を感じる	2901	43.9
3	あまり不安でない	1713	25.9
4	まったく不安を感じない	277	4.2

Q33\_1\_2 現在の生活における不安／ご自身の健康のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1044	15.8
2	少し不安を感じる	3023	45.8
3	あまり不安でない	2181	33.0
4	まったく不安を感じない	355	5.4

## Q33\_1\_3 現在の生活における不安／家族の健康のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1197	18.1
2	少し不安を感じる	3378	51.2
3	あまり不安でない	1746	26.4
4	まったく不安を感じない	282	4.3

## Q33\_1\_4 現在の生活における不安／現在の生活費のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1701	25.8
2	少し不安を感じる	2725	41.3
3	あまり不安でない	1834	27.8
4	まったく不安を感じない	343	5.2

## Q33\_1\_5 現在の生活における不安／現在の雇用が不安定なこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1955	29.6
2	少し不安を感じる	2313	35.0
3	あまり不安でない	1815	27.5
4	まったく不安を感じない	520	7.9

## Q33\_1\_6 現在の生活における不安／現在安心して住める住宅がないこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	657	10.0
2	少し不安を感じる	1255	19.0
3	あまり不安でない	2806	42.5
4	まったく不安を感じない	1885	28.5

## Q33\_1\_7 現在の生活における不安／現在面倒をみってくれる人がいないこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	734	11.1
2	少し不安を感じる	1724	26.1
3	あまり不安でない	2884	43.7
4	まったく不安を感じない	1261	19.1

## Q33\_1\_8 現在の生活における不安／先行きに対する漠然とした不安感

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1878	28.4
2	少し不安を感じる	3073	46.5
3	あまり不安でない	1353	20.5
4	まったく不安を感じない	299	4.5

Q33\_2\_1 老後の生活における不安／老後の生活全般

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	2517	38.1
2	少し不安を感じる	3080	46.6
3	あまり不安でない	883	13.4
4	まったく不安を感じない	123	1.9

Q33\_2\_2 老後の生活における不安／ご自身の健康のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1941	29.4
2	少し不安を感じる	3323	50.3
3	あまり不安でない	1173	17.8
4	まったく不安を感じない	166	2.5

Q33\_2\_3 老後の生活における不安／家族の健康のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1981	30.0
2	少し不安を感じる	3392	51.4
3	あまり不安でない	1008	15.3
4	まったく不安を感じない	222	3.4

Q33\_2\_4 老後の生活における不安／老後の生活費のこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	2778	42.1
2	少し不安を感じる	2839	43.0
3	あまり不安でない	860	13.0
4	まったく不安を感じない	126	1.9

Q33\_2\_5 老後の生活における不安／将来の雇用が不安定なこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	2326	35.2
2	少し不安を感じる	2714	41.1
3	あまり不安でない	1267	19.2
4	まったく不安を感じない	296	4.5

Q33\_2\_6 老後の生活における不安／将来安心して住める住宅がないこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1160	17.6
2	少し不安を感じる	1846	28.0
3	あまり不安でない	2453	37.1
4	まったく不安を感じない	1144	17.3

Q33\_2\_7 老後の生活における不安／将来面倒をみてくれる人がいないこと

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	1507	22.8
2	少し不安を感じる	2543	38.5
3	あまり不安でない	2085	31.6
4	まったく不安を感じない	468	7.1

Q33\_2\_8 老後の生活における不安／先行きに対する漠然とした不安感

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	大変不安を感じる	2226	33.7
2	少し不安を感じる	3067	46.4
3	あまり不安でない	1082	16.4
4	まったく不安を感じない	228	3.5

Q34 あなたは「ライフプランニング」という言葉を知っていますか。

		回答数	%
全体		6603	100.0
1	知っている	3303	50.0
2	知らない	3300	50.0

Q34\_1 「ライフプランニング」という言葉を知っている方にお伺いします。「ライフプランセミナー」を受けたことが、ありますか。または受けて見たいと思いますか。

		回答数	%
全体		3303	100.0
1	「ライフプランセミナー」を受けたことがある	417	12.6
2	「ライフプランセミナー」を受けてみたい	2886	87.4

Q34\_2\_1 「ライフプランセミナー」を受けた場所について

		回答数	%
全体		417	100.0
1	勤めている会社	195	46.8
2	金融機関	50	12.0
3	役所等の公的機関	23	5.5
4	その他	149	35.7

Q34\_2\_2 「ライフプランセミナー」を受けて、ライフプランの作成について

		回答数	%
全体		417	100.0
1	自分なりに作成している	120	28.8
2	作成したがその通りにはっていない	146	35.0
3	作成していない	151	36.2

資料6 企業年金に関するアンケート調査の  
集計結果分析

# 資料6 企業年金に関するアンケート調査の集計結果分析

## 1 はじめに

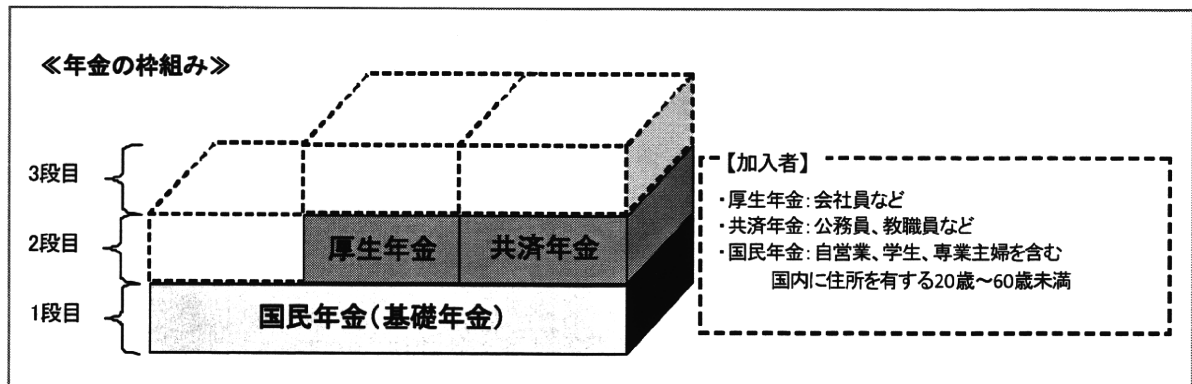
本稿は、アンケート調査の単純集計結果を基に分析を行ったものである。

主な調査結果としては、企業年金がない第2号被保険者は公的年金（国民年金、厚生年金）だけでは老後の生活を不安に感じており「自分で掛金を支払っても良いから企業年金のような年金制度に加入したい」と考えている人が、37.5%と比較的多かった。また、第1号被保険者の非正規雇用者についても老後の生活は国民年金だけでは不安と考えており「厚生年金に加入できれば加入したい」と考えている人の割合が、48.0%と多かった。

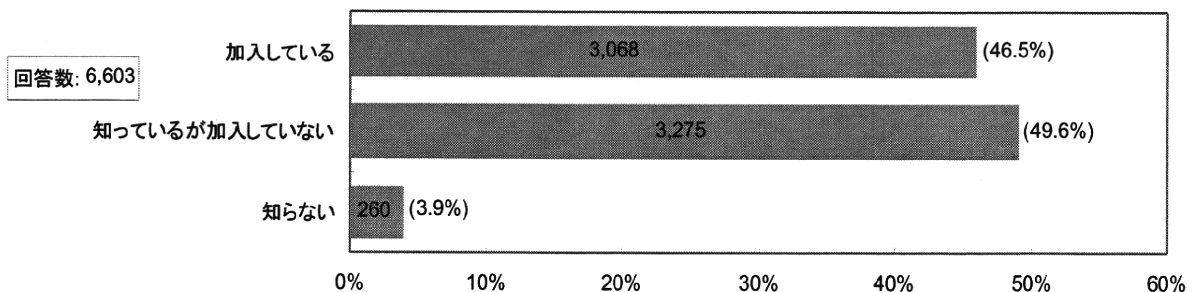
企業年金がない雇用者や自営業者は、ほとんどの人が老後は公的年金だけでは不安に感じており、何らかの年金制度にできれば加入したいと考えていることが浮き彫りとなった。企業年金がない雇用者や自営業者の老後保障をどうすべきであるかについては、我が国においても重要な課題であり、既存制度の活用と伴に、これらの人々が自ら進んで加入するような税制優遇による新たな仕組み作りが必要かもしれない。

## 2 アンケート結果及びその分析

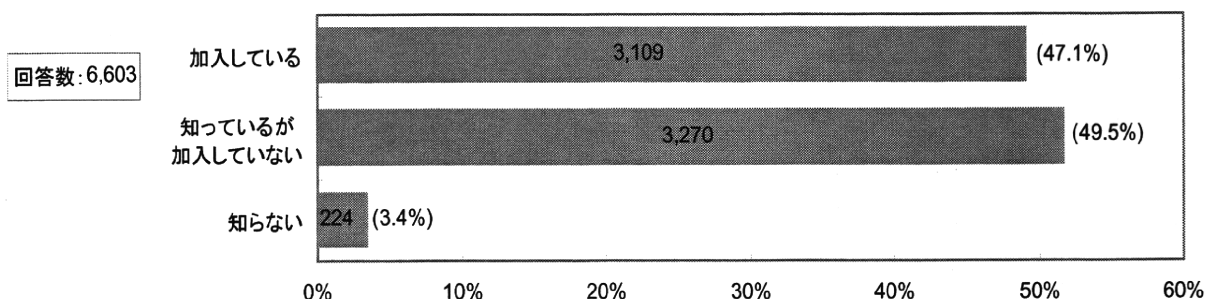
### 2.1 年金制度の加入状況について



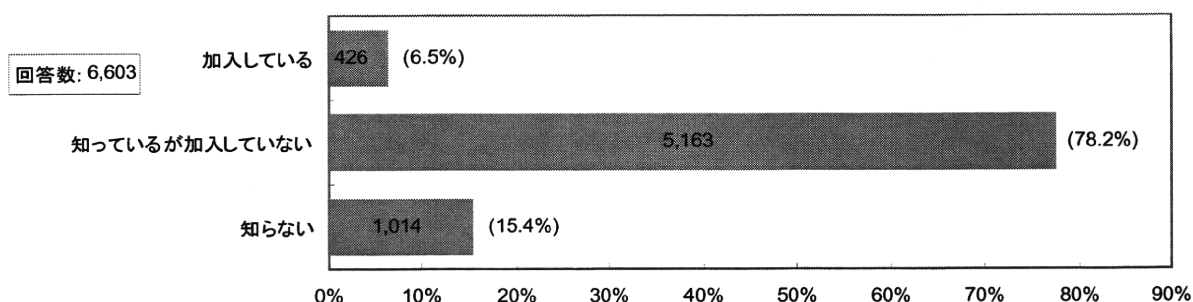
【SC1\_1】あなたは、国民年金に加入(国民年金第1号及び第3被保険者)していますか。(単一回答)



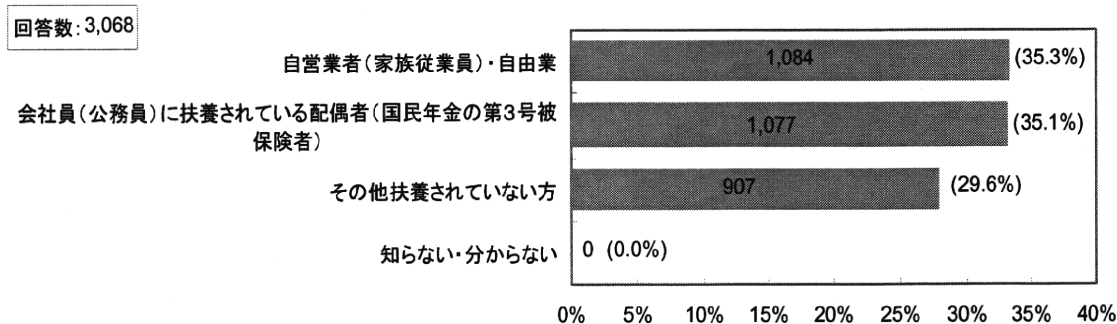
【SC1\_2】あなたは、厚生年金に加入していますか。(単一回答)



【SC1\_3】あなたは、共済年金(国家公務員共済組合、地方公務員等共済組合、私学学校教職員共済)に加入していますか。(単一回答)



【SC2】あなたは、「国民年金」に加入(国民年金第1号及び第3号被保険者)していると答えですが、現在のあなたの状況はどれに該当しますか。(単一回答)

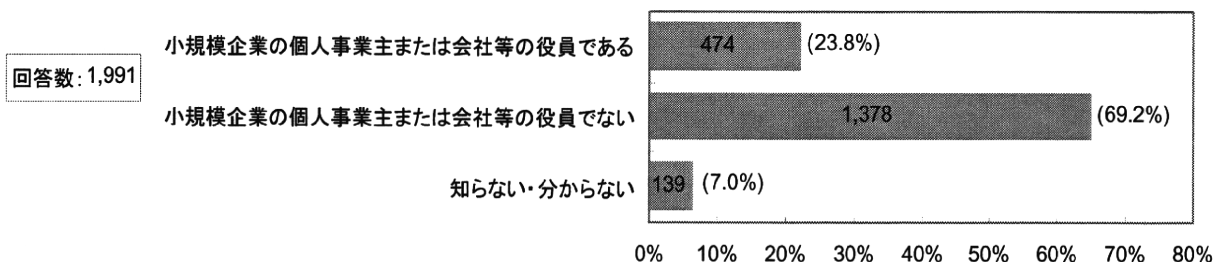


厚生労働省が発表している「平成 21 年度厚生年金保険・国民年金事業概況」<sup>1</sup>によると、国民年金の第 1 号被保険者は 1,985 万人 (28.9%)、第 2 号被保険者は 3,868 万人 (56.2%) (厚生年金保険 3,425 万人、共済組合 443 万人)、第 3 号被保険者は 1,021 万人 (14.9%) となっている。

<sup>1</sup> 厚生労働省 統計情報 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/toukei/index.html>, 2011.2.24)

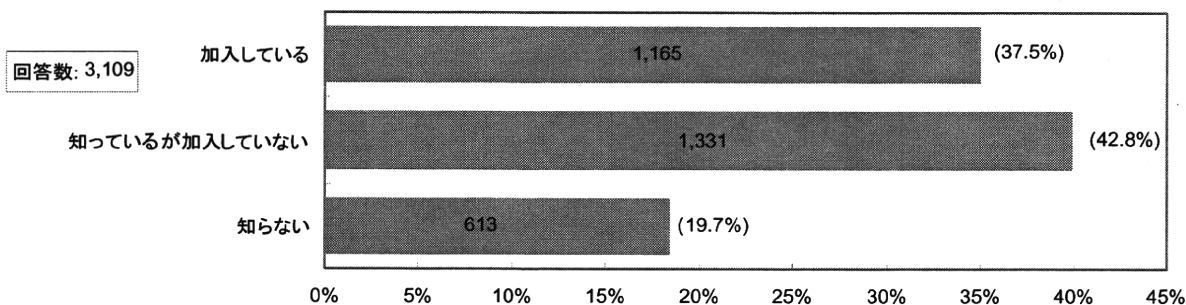
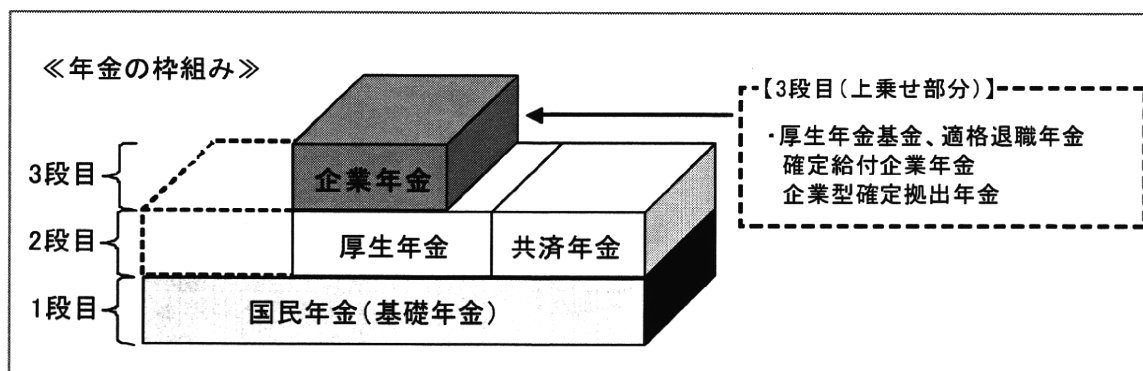


**【SC2\_1】あなたは、国民年金の第1号被保険者とお答えですが、小規模企業の個人事業主または会社等の役員に該当しますか。(単一回答)**



**【SC3\_1】あなたは、厚生年金に加入しているとお答えですが、企業年金に加入していますか。(単一回答)**

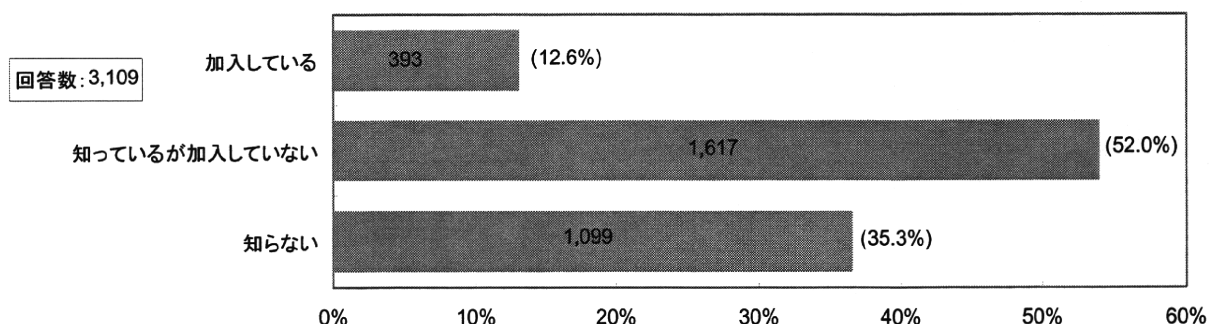
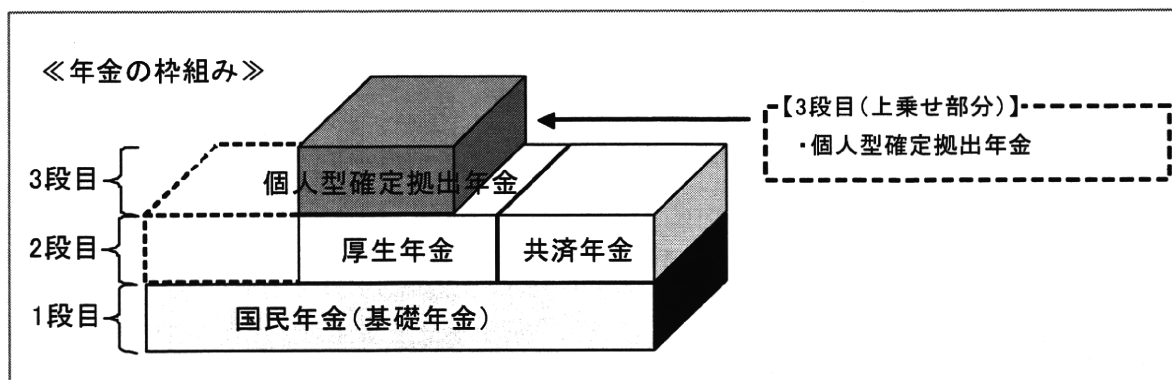
※企業年金とは、厚生年金基金、適格退職年金、確定給付企業年金、企業型確定拠出年金を指す。



企業年金連合会の基礎資料<sup>2</sup>によると、平成 21 年度末の各企業年金の加入者は、厚生年金基金 460 万人、適格退職年金 250 万人、確定給付企業年金 647 万人、企業型確定拠出年金 340 万人の合計 1,697 万人で、厚生年金被保険者 3,425 万人のうち、約半数の 49.5%がこれらの企業年金に加入している。

<sup>2</sup> 企業年金連合会編 (2011)『企業年金に関する基礎資料』(平成 22 年 12 月), 2 頁。

【SC3\_2】あなたは、厚生年金に加入しているとお答えですが、個人型確定拠出年金に加入していますか。(単一回答)



厚生労働省の発表している「確定拠出年金の施行状況」<sup>3</sup>によると、平成22年11月末の個人型確定拠出年金の第2号被保険者の加入者数は78,076人で、第2号被保険者3,868万人の0.2%であり、企業年金加入者1,697万人と合わせて、厚生年金被保険者の49.8%が何らかの上乗せ年金に加入している状況である。逆に言うと、厚生年金被保険のうち、約半数が企業年金等の上乗せ年金に加入していないということでもある。アンケート結果では第2号被保険者の12.6%が個人型確定拠出年金に加入していると回答しているが、もしかしら、一般の個人年金保険と間違えて回答している可能性もあると思われる。厚生年金基金は平成8年のピーク時1,883基金(1,087万人)から平成23年1月1日時点で600基金(454万人)<sup>4</sup>まで減少しており、その減少分の約4割弱が解散となっている。また、適格退職年金は平成24年3月末までの制度廃止が決まっており、平成13年度末で73,582件(917万人)が、平成22年9月末時点で12,714件(189万人)まで減少しているが、他の制度への移行が思うように進まず、その約4割が解約となっている状況でもある<sup>5</sup>。企業年金が減少していく中、自ら個人型確定拠出年金への加入等を考えていかなければならない状況であるが、実際には第2号被保険者の個人型確定拠出年金の加入者は約7.8万人と伸び悩んでいる状況である。

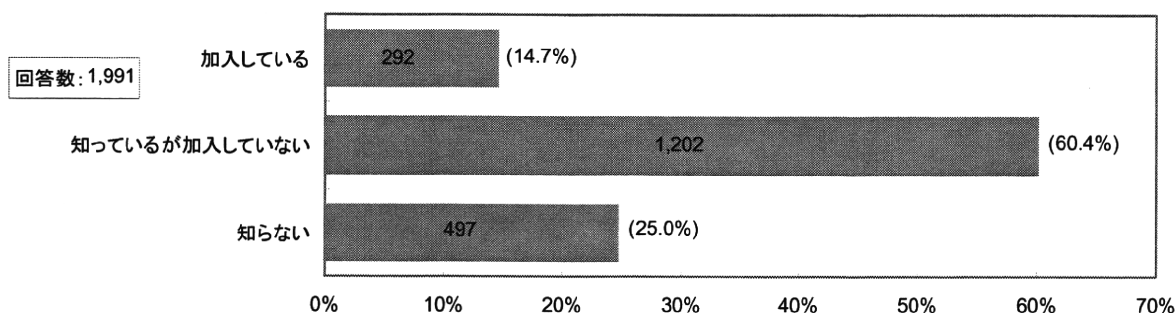
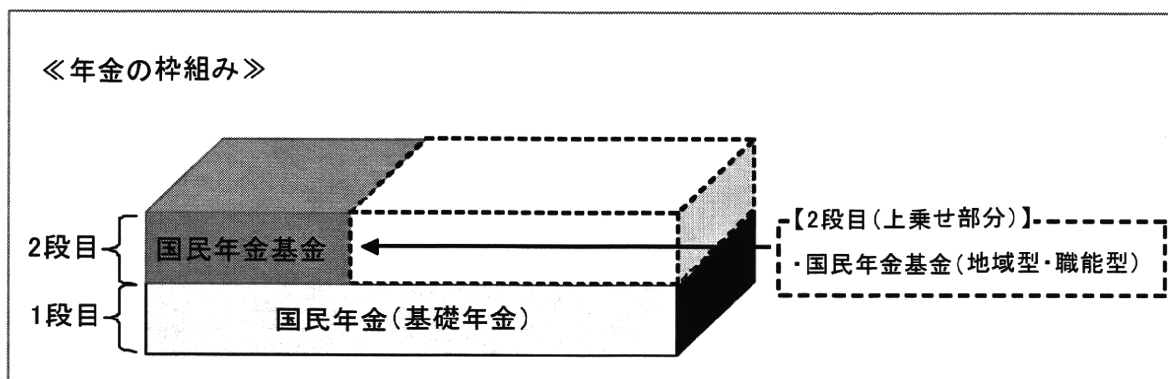
<sup>3</sup> 厚生労働省「確定拠出年金の施行状況について」、

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/kyoshutsu/sekou.html>, 2011.2.24)。

<sup>4</sup> 企業年金連合会編(2011)「企業年金の現況」『企業年金』2011年2月号, 65頁。

<sup>5</sup> 西村淳(2009)「企業年金制度の現状と課題」『Jurist』有斐閣2009.6.1, No.1379, 15頁。

【SC4.2】あなたは、国民年金の第1号被保険者とお答えですが、国民年金基金(地域型、職能型)に加入していますか。(単一回答)



国民年金基金(地域型+職能型)の加入員数は近年減少傾向にあり、平成21年度末で577,145人である<sup>6</sup>。平成21年度末の第1号被保険者数は1,951万人<sup>7</sup>であり、第1号被保険者の国民年金基金(地域型+職能型)の加入率は約3%である。国民年金の免除者(全額および一部)は、平成21年度で582万人であり、この免除者を除いた第1号被保険者は1,369万人である。さらに、『平成20年国民年金被保険者実態調査』によれば、国民年金の完納者は794.5万人であり、国民年金基金に加入できる国民年金完納者794.5万人における国民年金基金の加入率は7.3%となる。アンケート結果ではこれより多い数値14.7%となっているが、もしかしたら、国民年金と間違えて回答している可能性もあると思われる。

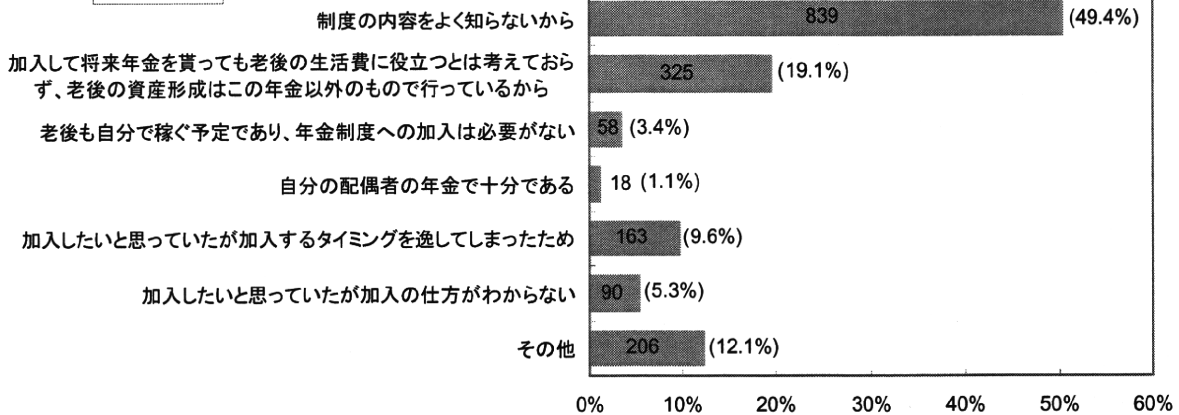
<sup>6</sup> 国民年金基金連合会「事業概況」(<http://www.npfa.or.jp/jigyoku/index.html>,2011.2.23)。

国民年金基金の加入員数は、H15年度末で789,178人であったが、その後減少し、H16年度末で751,306人、H17年度末で726,748人、H18年度末で692,713人、H19年度末で648,415人、H20年度末で614,784人となっている。

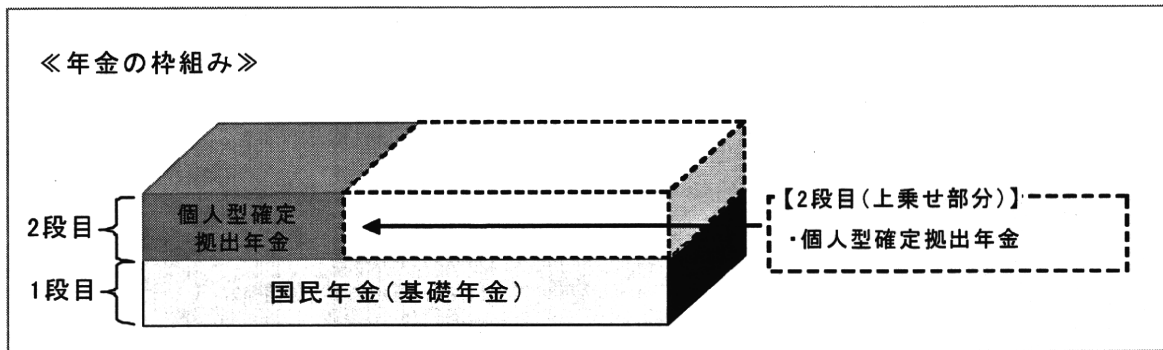
<sup>7</sup> 厚生労働省 統計情報「厚生年金保険・国民年金事業の概況」より抜粋、任意加入者は除いた人数である。  
(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/toukei/index.html>,2011.2.23)。

【Q14.3】あなたは、国民年金の第1号被保険者で、国民年金基金(地域型、職能型)には加入していないと お答えですが、国民年金基金(地域型、職能型)に加入していない理由は何ですか。(単一回答)

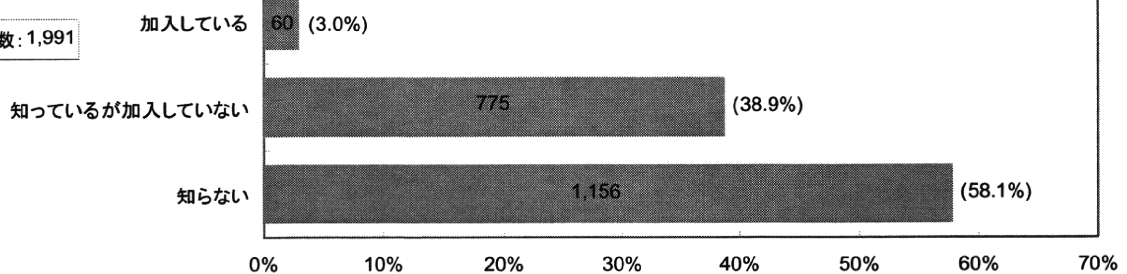
回答数: 1,699



【SC4.3】あなたは、国民年金の第1号被保険者とお答えですが、個人型確定拠出年金に加入していますか。(単一回答)



回答数: 1,991



厚生労働省の発表している「確定拠出年金の施行状況」<sup>8</sup>によると、平成22年11月末の個人型確定拠出年金の第1号被保険者の加入者数は42,941人で、第1号被保険者1,985万人の0.2%である。これは、個人型確定拠出年金の第2号被保険者の加入者数78,076人よりも少ない数値である。両方合わせても、個人型確定拠出年金の加入者数は121,017

<sup>8</sup> 厚生労働省「確定拠出年金の施行状況について」より抜粋  
(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/kyoshutsu/sekou.html>, 2011.2.24).